

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
居住設備学	北野 博亮	講義	2	建築士	1,2	3	1,2,3,4
授業概要 授業目的	建築・都市設備、すなわち空気調和設備・給排水衛生設備・電気設備・防災設備について、その基本メカニズムと構成を環境問題等との関連性を踏まえて解説する。建築設備の概要および良好な室内環境と省エネルギーに関する知識を得ることがこの授業の目的である。						
到達目標	都市や建築において快適な居住空間を実現するための設備の概要を修得することが本講義の到達目標である。						
回	学習内容						
1	ガイダンスと居住設備の概要						
2	温熱環境評価						
3	空気調和設備(1) 冷暖房負荷						
4	空気調和設備(2) 冷暖房負荷・熱源機器						
5	空気調和設備(3) 空調方式・空気調和機						
6	空気調和設備(4) 換気設備						
7	空気調和設備(5) 空調設備の設計						
8	給排水衛生設備						
9	電気設備(1) 受変電・配電設備						
10	電気設備(2) 照明設備						
11	防災設備(1) 火災防災設備						
12	防災設備(2) 避雷設備ほか						
13	省エネルギー技術(1) 地球・都市環境問題, 自然エネルギー利用技術						
14	省エネルギー技術(2) 一般建築物の省エネルギー手法						
15	授業のまとめの後, 試験を実施						
予習内容 復習内容	教科書の該当部分を予習しておくこと テキストと授業で説明した内容を整理しておくこと						
教科書	田中俊六他著「建築設備工学」 井上書院						
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は、全講義回数 15 回のうち 10 回以上出席した受講者に対して行う。</li> <li>・授業中に課す筆記試験とレポートによって、講義内容の理解度を判断し成績評価を行う。</li> <li>・評価におけるそれぞれのウェイトは、筆記試験が 50%、レポートが 50%である。</li> </ul>						
実務経験							
その他 特記事項							